

授業科目名	広域看護特論 I <i>Advanced Studies in Life-support Nursing I</i>		担当教員	高橋 清美、山勢 善江 小林 裕美、濱元 淳子	
開講年次	1年前期	セメスター	1	時間数(単位数)	30 (2)
必修選択	専攻領域必修	授業形態	講義	使用教室	
授業の目的	クリティカルケア、メンタルヘルスケア、在宅ケアの各分野における国内外の諸制度やしきみを理解し、システムにおける実際と現状における諸問題に着目し、今後の在り方を考える。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. テーマに基づき広域看護の3つの分野からの視点を学ぶ意義について理解できる 2. クリティカルケア、メンタルヘルスケア、在宅ケアの各分野における法制度としきみについて、基本的な知識と最新の知識を理解し、政策的な動向による看護職の役割について討議することができる 3. 専門的関心がある現象について、理論や先行研究を引用しながら自己の洞察をレポートで表現することができる 				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1回 「10年後を見据えた日本の保健医療看護のトピック」について討議し、広域看護の意義を理解する。(高橋、山勢、小林、濱元) 2回 在宅看護における法制度としきみについて (小林) 3回 メンタルヘルスにおける法制度としきみについて (高橋) 4回 クリティカルケアにおける法制度としきみについて (山勢) 5回 10年後を見据えた日本の保健医療看護のトピックに関する討議 (高橋、山勢、小林、濱元) 6回 10年後を見据えた日本の保健医療看護のトピック 検討会① (高橋) 7回 10年後を見据えた日本の保健医療看護のトピック 検討会② (濱元) 8回 10年後を見据えた日本の保健医療看護のトピック 検討会③ (山勢) 9回 家族看護に関する理論とアセスメント (山勢) 10回 家族看護に関する理論とアセスメント 事例分析 (山勢) 11回 チームアプローチの理論と今日的課題 (小林) 12回 チームアプローチに関する院生によるプレゼンテーション① (小林) 13回 チームアプローチに関する院生によるプレゼンテーション② (小林) 14回 代理意思決定の諸相 (濱元) 15回 代理意思決定支援についての事例分析 (濱元) 				
学習方法	<p>クリティカルケア、メンタルヘルスケア、在宅ケアにおける①法制度としきみ ②10年後を見据えた日本の保健医療看護のトピック ③家族看護 ④チームアプローチ ⑤代理意思決定の5つをテーマとし、各分野、ならびにこれらを統合したものを広域看護の視点として学ぶ。</p> <p>①2～4回の「法制度としきみ」では、各回で事前課題を提示する。その課題レポートおよび担当者からの講義を合わせて内容を理解し、討議を行う。</p> <p>②5～8回の「10年後を見据えた日本の保健医療看護のトピック」では、各自が情報集約し分析した内容を、6,7,8回において院生がプレゼンテーションを実施し全体討議する。</p> <p>③9～10回の「家族看護」では、教員からの知識の提供のみならず、院生が経験した実践事例をもとに、学んだ知識を用いて分析する方法で進める。</p> <p>④11～13回の「チームアプローチ」では、11回ではチームアプローチに関する導入の講義を行った上で、12, 13回では院生によるプレゼンテーションと討議を行う。</p> <p>⑤14～15回の「代理意思決定」では、まず意思決定モデルや行動プロセスについての講義を受け、その後に臨床経験の中で遭遇した代理意思決定事例について、学んだ知識をもとに分析し、問題の明確化と看護師としての支援の在り方について討議を行う。</p>				
オフィスアワー	<p>金曜日の昼休み、もしくはメールにてアポイントをとってください。</p> <p>山勢 y-yamase@jrckicn.ac.jp 小林 h-kobayashi@jrckicn.ac.jp 高橋 k-takahashi@jrckicn.ac.jp 濱元 j-hamamoto@jrckicn.ac.jp</p>				

テキスト	特に指定しない
参考文献	<p>Gail, W.Stuart.:<i>Principles and Practice of Psychiatric Nursing 9th ed.</i>. St. Louis, Mosby Elsevier, 2009.</p> <p>Karen K Carlson:<i>Advanced Critical Care Nursing</i> . St. Louis, Mosby, 2008.</p> <p>ValeriePage E.,et al.:<i>Delirium in Critical Care (Core Critical Care)</i>. New York, Cambridge University Press, 2011.</p> <p>Rudi Dallos, et al.:<i>An Introduction of Family Therapy</i>. New York,Open University Press, 2005.</p> <p>森山美知子：ファミリーナーシングプラクティス 家族看護の理論と実践. 東京, 医学書院, 2001.</p>
評価方法	討議への参加度・プレゼンテーション (50%) レポート (50%)